

# 令和8年度 年間指導計画（評価計画） 国語 9年

## 1 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨
① 知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解しようとする態度を育てる。
② 思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を育てる。

## 2 年間指導計画

月	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価規準	評価方法
4	世界はうつくしいと	1	① ③	<b>【知・技】</b> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ <b>【主】</b> 進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
	1 深まる学びへ 握手 漢字に親しもう1	4	① ② ③	<b>【知・技】</b> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ <b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) <b>【主】</b> 物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。 <b>【知・技】</b> 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア <b>【主】</b> 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
	書写（硬筆・毛筆）	3	① ③	<b>【知・技】</b> 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 <b>【主】</b> 積極的に見の周りの文字をさがし、学習の見通しをもって見付けた文字による多様な表現について発表しようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査
5	1 深まる学びへ [聞く] 意見を聞き、適切さを判断する	1	① ② ③	<b>【知・技】</b> 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ <b>【思・判・表】</b> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) <b>【主】</b> 聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査

	1 深まる学びへ 文法への扉1 「走って」いるのは誰？ 文法1 文法を生かす	1	① ③	【知・技】 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(2年(1)オ) 【主】 助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査
	1 深まる学びへ 説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	3	① ② ③	【知・技】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【主】 相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査
6	1 深まる学びへ 言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	1	① ③	【知・技】 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ) 【主】 相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査
	1 深まる学びへ 学びて時に之を習ふ ——「論語」から 漢文の訓読	2	① ③	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ) 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】 人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
	1 深まる学びへ 季節のしおり 春	0	① ③	【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【主】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査
	2 視野を広げて 作られた「物語」を 超えて	3	① ② ③	【知・技】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 【主】 進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査
	2 視野を広げて 思考のレッスン 具体化・抽象化	1	① ③	【知・技】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【主】 具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組もうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査

7	2 視野を広げて 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう2	1	① ③	<p>【知・技】 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p> <p>【主】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	言葉とともに 俳句の可能性 〔書く〕俳句の創作教室 俳句を味わう	4	① ② ③	<p>【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)</p> <p>・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【主】 進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	言葉とともに 言葉の釣り糸を垂らす	2	① ② ③	<p>【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>【主】 筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	言葉とともに 言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化	1	① ② ③	<p>【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ)</p> <p>【主】 進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	情報×SDGs 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	2	① ② ③	<p>【知・技】 ・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ)</p> <p>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)</p> <p>・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【主】 情報の信頼性の確かめ方を積極的に使って読み、学習したことを踏まえ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>

				て実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。	
	情報×SDGs 情報整理のレッスン 情報の信頼性	1	① ③	【知・技】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ) 【主】 積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査
9	いつも本はそばに 読書を楽しむ	1	① ③	【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 【主】 進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート
	いつも本はそばに 「私の一冊」を探し にいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界 を広げよう コラム ためになるってどんなこと？	1	① ② ③	【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】 進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート
	いつも本はそばに 季節のしおり 夏	0	① ③	【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【主】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査
	4 状況の中で 挨拶 ——原爆の写真によ せて	2	① ② ③	【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】 詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・定期考査
	4 状況の中で 故郷	5	① ③	【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】 文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・単元テスト ・定期考査

10	4 状況の中で [推敲] 論理の展開 を整える	2	① ② ③	<p>【知・技】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ)</p> <p>・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p> <p>【主】 目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	4 状況の中で 言葉3	1	① ③	<p>【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【主】 慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	4 状況の中で 聞き上手になろう 質問で相手の思いに 迫る	1	① ② ③	<p>【知・技】 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)</p> <p>【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)</p> <p>【主】 話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	4 状況の中で 漢字2 漢字の造語 力	1	① ③	<p>【知・技】 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p> <p>【主】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
10	5 自らの考えを 複数の意見を読んで、 考えよう ——正解が一つに決 まらない課題と向き 合う	3	① ② ③	<p>【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)</p> <p>【主】 三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	5 自らの考えを 考えを効果的に伝え よう 多角的に分析して批 評文を書く	5	① ② ③	<p>【知・技】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)。</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>

				<p>【主】 自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。</p>	
10	<p>5 自らの考えを漢字に親しもう3 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ 文法2 文法のまとめ</p>	1	<p>① ③</p>	<p>【知・技】 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p> <p>【主】 今までに学習した知識を生かして、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【知・技】 単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。(1年(1)エ、2年(1)オ)</p> <p>【主】 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
11	<p>5 自らの考えを聴きひたる 初恋</p>	1	<p>① ③</p>	<p>【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【主】 進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	<p>5 自らの考えを季節のしおり 秋</p>	0	<p>① ③</p>	<p>【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【主】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	<p>6 いにしえの心を受け継ぐ 和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序</p>	1	<p>① ③</p>	<p>【知・技】 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>【主】 進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
12	<p>6 いにしえの心を受け継ぐ 君待つと ——万葉・古今・新古今</p>	2	<p>① ② ③</p>	<p>【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)</p> <p>【主】 進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	<p>6 いにしえの心を受け継ぐ 夏草 ——「おくのほそ道」から</p>	3	<p>① ② ③</p>	<p>【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>

				<p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>【主】</p> <p>人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。</p>	
	6 いにしへの心を受け継ぐ つながる古典 古典名作選 [書く] 古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	1	① ② ③	<p>【知・技】</p> <p>歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)</p> <p>【主】</p> <p>長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したりメッセージを書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	7 価値を生み出す それでも、言葉を	1	① ② ③	<p>【知・技】</p> <p>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【主】</p> <p>言葉や社会、人間などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	7 価値を生み出す 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう4	1	① ③	<p>【知・技】</p> <p>第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p> <p>【主】</p> <p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	7 価値を生み出す [話し合い(進行)] 話し合いを効果的に 進めよう	1	① ③	<p>【知・技】</p> <p>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)</p> <p>【主】</p> <p>積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
1	7 価値を生み出す 季節のしおり 冬	1	① ③	<p>【知・技】</p> <p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【主】</p> <p>伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>

	7 価値を生み出す 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4	① ② ③	<p>【知・技】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)</p> <p>【主】 合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	いつも本はそばに 本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界 を広げよう	1	① ② ③	<p>【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【主】 進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
2	8 未来へ向かって 温かいスープ	2	① ② ③	<p>【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【主】 人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	8 未来へ向かって アラスカとの出会い	2	① ② ③	<p>【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【主】 人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	8 未来へ向かって 律儀な桜	1	① ② ③	<p>【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【主】 人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり、考えを伝え合ったりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	書写 (毛筆)	7	① ② ③	<p>【知・技】 今までに学習した知識・技能を生かして作品を作ろうとしている。</p> <p>【主】 積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして作品を仕上げようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・定期考査</li> <li>・作品</li> </ul>

3	8 未来へ向かって わたしを束ねないで	1	<p>① 【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>② 【思・判・表】 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>③ 【主】 詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	8 未来へ向かって 三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	5	<p>① 【知・技】 話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ)</p> <p>② 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p> <p>③ 【主】 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)</p> <p>【主】 粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	8 未来へ向かって 初日 漢字に親しもう 5	2	<p>① 【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>② 【思・判・表】 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>③ 【主】 詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値について考えをまとめようとしている。</p> <p>【知・技】 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p> <p>【主】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	学びを深める 国語の力試し	3	<p>① 【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>② 【思・判・表】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>③ 【主】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)</p> <p>・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)</p> <p>【主】 粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>